

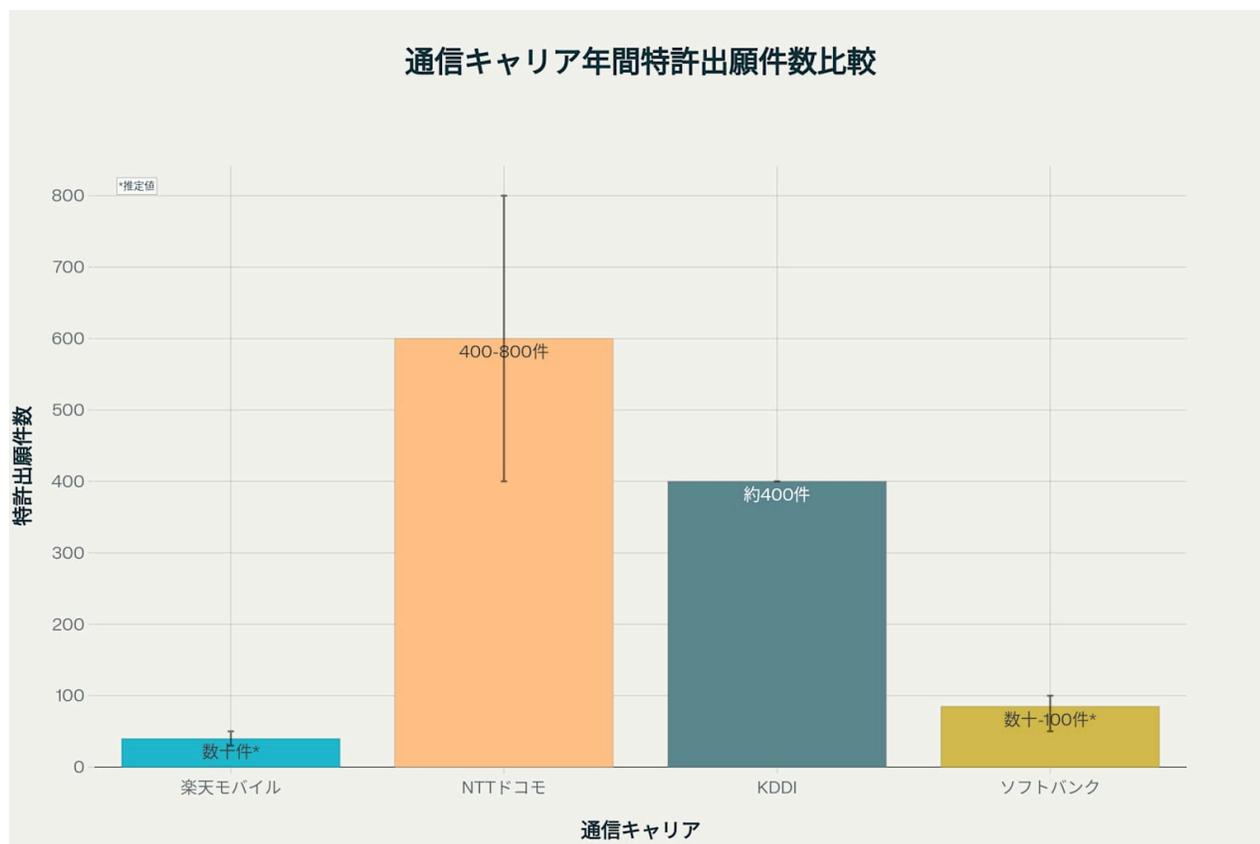
# 楽天モバイルの知財活動に関する総合調査報告書

本報告書は、楽天モバイル株式会社の知的財産活動について、他社比較、戦略分析、組織体制、海外展開、教育活動など6つの視点から包括的に調査・分析したものである。楽天モバイルは2018年の設立以来、**完全仮想化技術**という革新的なアプローチで携帯電話事業に参入し、知財戦略においても独自のポジションを確立している<sup>[1][2][3]</sup>。

## 1. 他社（KDDI、ソフトバンク、NTTドコモ）との比較

### 1.1 特許出願件数の比較

通信キャリア4社の特許出願状況を比較すると、明確な差異が見られる。NTTドコモが年間400-800件と圧倒的な出願数を誇り、KDDIが約400件で安定した出願を継続している<sup>[4][5]</sup>。一方、楽天モバイルとソフトバンクは年間数十件から100件程度と、大手2社に比べて出願数は限定的である<sup>[6][4]</sup>。



通信キャリア4社の知財活動比較表

## 1.2 知財戦略の特徴比較

各社の知財戦略には明確な差別化が見られる。NTTドコモは基本通信技術とインフラ技術に強みを持ち、約2万件の特許を保有する知財の巨人である<sup>[7] [8]</sup>。KDDIはユーザー向け技術とスタートアップ支援に特色があり、「権利はすべてスタートアップに渡す」という革新的な支援方針を採用している<sup>[9] [10]</sup>。

ソフトバンクは2024年に2日間で3500件超の特許を一括公開するなど、AI・投資戦略重視の知財活動を展開している<sup>[6] [11]</sup>。楽天モバイルは完全仮想化技術と標準必須特許重視のアプローチで差別化を図っている<sup>[1] [12] [3]</sup>。

## 1.3 組織体制の比較

楽天モバイルは約30名の専門チームで4セクション制を採用し、海外拠点にも担当者を配置している<sup>[1] [12]</sup>。これは他社と比べてコンパクトながら、グローバル展開を意識した効率的な体制といえる。NTTドコモはグループ全体での知財管理を行い、KDDIとソフトバンクはそれぞれ知的財産部を設置している<sup>[9] [7]</sup>。

## 2. 知財戦略の特徴と強み・弱みの分析

### 2.1 戦略的特徴

楽天モバイルの知財戦略の最大の特徴は、\*\*「スクラッチからの立ち上げ」\*\*という点にある<sup>[1] [12]</sup>。これにより従来の通信業界の常識にとらわれない、革新的なアプローチが可能となっている。具体的には以下の特徴が挙げられる：

- **完全仮想化技術**への特化：世界初のエンドツーエンド完全仮想化クラウドネイティブモバイルネットワークの構築<sup>[2] [13]</sup>
- **標準必須特許重視**：3GPP関連特許100件以上出願、うち15%以上がSEPに認定<sup>[3]</sup>
- **オープンエコシステムの推進**：O-RAN ALLIANCEでの理事就任など<sup>[2]</sup>

### 2.2 強みの分析

**技術的差別化の実現**：楽天モバイルは完全仮想化技術により、従来の専用機器に依存しない柔軟なネットワークを構築している<sup>[13]</sup>。これは競合他社との明確な差別化要因となっている。

**効率的な知財体制**：限られた人員（30名）で最大の成果を出すため、AI・RPAを積極活用し「最強の知財部」を目指している<sup>[1] [14]</sup>。実際に社内AI利用率85%を達成し、1人当たり週平均4.9時間の業務効率化を実現している<sup>[14]</sup>。

**グローバル展開力**：インド・シンガポールに担当者を配置し、現地支援体制を整備している<sup>[1] [15]</sup>。

### 2.3 弱みと課題

**特許出願数の限界**：他社と比較して年間出願数が少なく、量的な特許ポートフォリオ構築に課題がある<sup>[4] [5]</sup>。

**歴史の浅さ**：2018年設立と歴史が浅く、長期的な知財戦略の実績蓄積が限定的である<sup>[1]</sup>。

リソースの制約：30名体制で多岐にわたる業務を担当しており、人的リソースの制約が存在する<sup>[1]</sup>。

### 3. 特許ポートフォリオの詳細分析

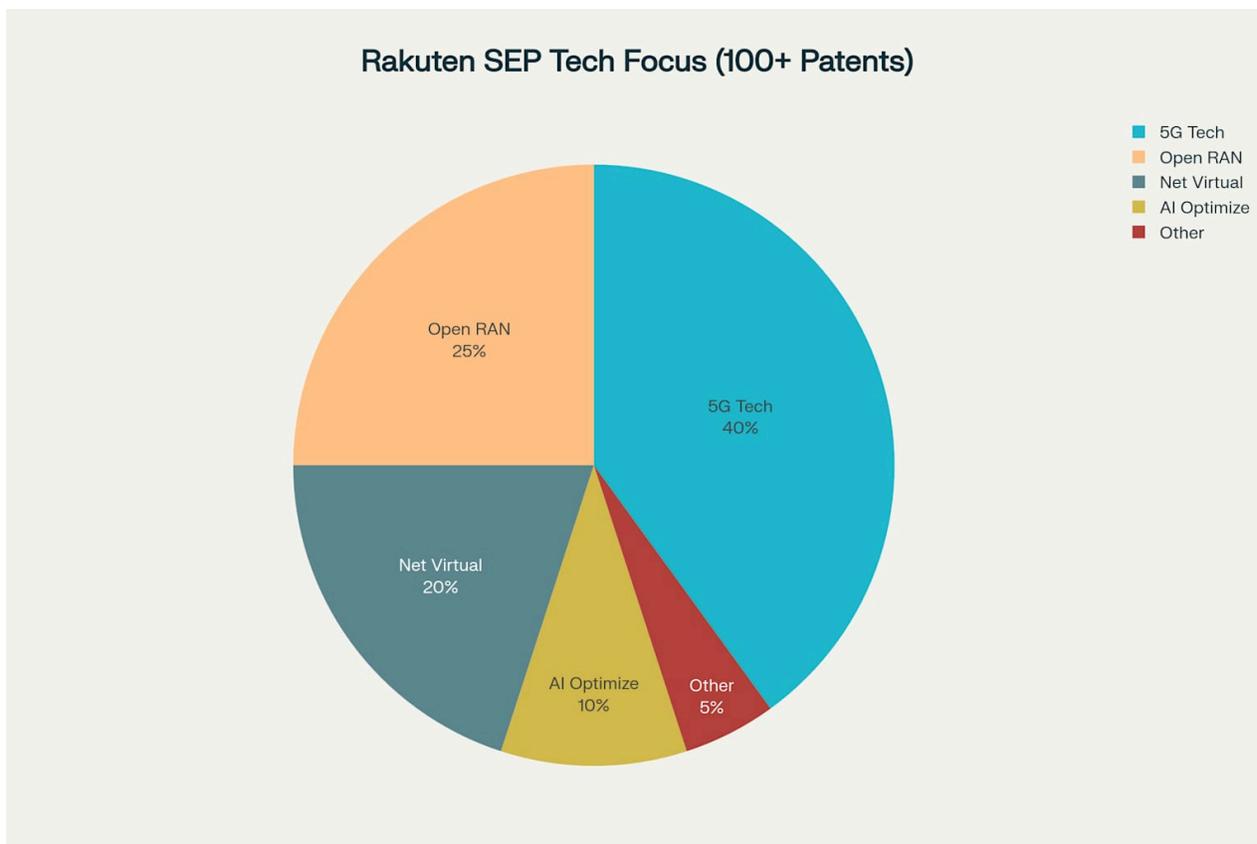
#### 3.1 出願件数と分野

楽天モバイルの年間特許出願件数は数十件程度と推定され、他の大手キャリアと比較すると量的には劣る<sup>[4]</sup>。しかし、質的な面では注目すべき成果を上げている。3GPP関連特許を100件以上出願し、そのうち15%以上が標準必須特許（SEP）に認定されている<sup>[3]</sup>。

#### 3.2 技術分野の特化

楽天モバイルの特許ポートフォリオは以下の分野に特化している<sup>[1]</sup><sup>[12]</sup>：

- **5G技術**：次世代通信規格の核心技術
- **OpenRAN**：相互運用可能な無線アクセスネットワーク
- **ネットワーク仮想化**：完全仮想化技術の実装
- **AI最適化**：AIによるネットワーク管理・最適化



楽天モバイルの標準必須特許戦略と標準化活動

### 3.3 標準必須特許の戦略的重要性

楽天モバイルは標準必須特許を戦略的に重視している。これは同社の完全仮想化技術が将来の通信業界標準となる可能性を見越した戦略である<sup>[16]</sup><sup>[2]</sup>。標準必須特許の保有により、技術のライセンス収入確保と業界での発言力向上を図っている。

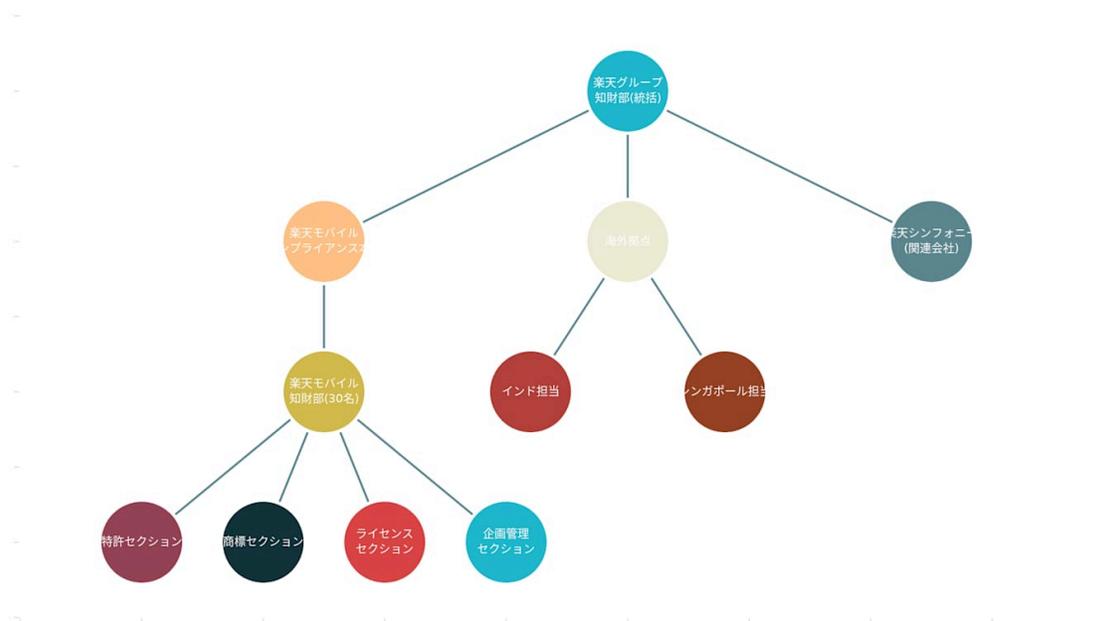
## 4. 知財部門の組織体制と運用の詳細

### 4.1 組織構造

楽天モバイル知的財産部は、コンプライアンス本部直下に設置された経営専属の組織である<sup>[1]</sup>。約30名体制で4つのセクションから構成されている：

- 特許セクション：特許出願・権利化、標準必須特許取得
- 商標セクション：商標出願・権利化、ブランド保護
- ライセンスセクション：ライセンス交渉、契約管理
- 企画管理セクション：知財戦略立案、管理システム運用

楽天モバイル知財部門組織体制図



楽天モバイル知財部門組織体制図

### 4.2 グローバル体制

海外開発拠点のあるインド・シンガポールにも担当者を配置し、現地支援体制を整備している<sup>[1]</sup><sup>[15]</sup>。これにより、グローバルな知財活動を効率的に推進している。

## 4.3 運用の特徴

**事業部門との密接な連携**：事業部門を顧客と捉え、定期会議を通じて案件・商品開発方針を協議している<sup>[1]</sup>。

**デジタル化の推進**：管理システム・BIツールの整備を推進し、AI・RPAを活用した業務効率化を図っている<sup>[1]</sup><sup>[14]</sup>。

**迅速な意思決定**：法務・営業部門と連携し、新製品リリースや新規事業契約の知財チェックを迅速に実施している<sup>[1]</sup>。

## 5. 海外展開との連動や標準化団体との連携活動

### 5.1 O-RAN ALLIANCEでの活動

楽天モバイルCTOのタレック・アミン氏がO-RAN ALLIANCEの理事に就任している<sup>[2]</sup>。同団体は2018年8月に設立され、現在200社以上が加盟する重要な標準化組織である。楽天モバイルは、自社のOpenRAN実用化による知見を活かし、5G時代における同団体の取り組みに貢献している<sup>[2]</sup>。

### 5.2 3GPPでの標準化活動

3GPP（3rd Generation Partnership Project）では積極的な参加を行い、100件以上の関連特許を出願している<sup>[3]</sup>。これにより、5G通信規格の策定において重要な役割を果たしている。

### 5.3 海外展開戦略

**技術供与とビジネス**：シンガポールの子会社を通じて、完全仮想化技術の海外企業への技術供与を推進している<sup>[15]</sup>。TPGテレコムとの5G技術供与基本合意など、具体的な成果も上がっている。

**楽天シンフォニー事業**：子会社の楽天シンフォニー株式会社を通じて、国内で構築した完全仮想化クラウドネイティブモバイルネットワークを世界の顧客に提供している<sup>[1]</sup><sup>[12]</sup>。

## 6. 知財教育・社内啓発活動の内容

### 6.1 全社的な教育プログラム

楽天モバイルでは包括的な知財教育プログラムを実施している<sup>[1]</sup>：

**全社会議での啓発**：週次情報共有会議で2-3ヶ月に一度、知財部門からの成果報告や事例紹介を実施している。

**新卒・中途向け教育プログラム**：基礎知識習得のための体系的なプログラムを策定し、各部門が制度を適切に活用できるスキル獲得を支援している。

## 6.2 AI活用による教育の効率化

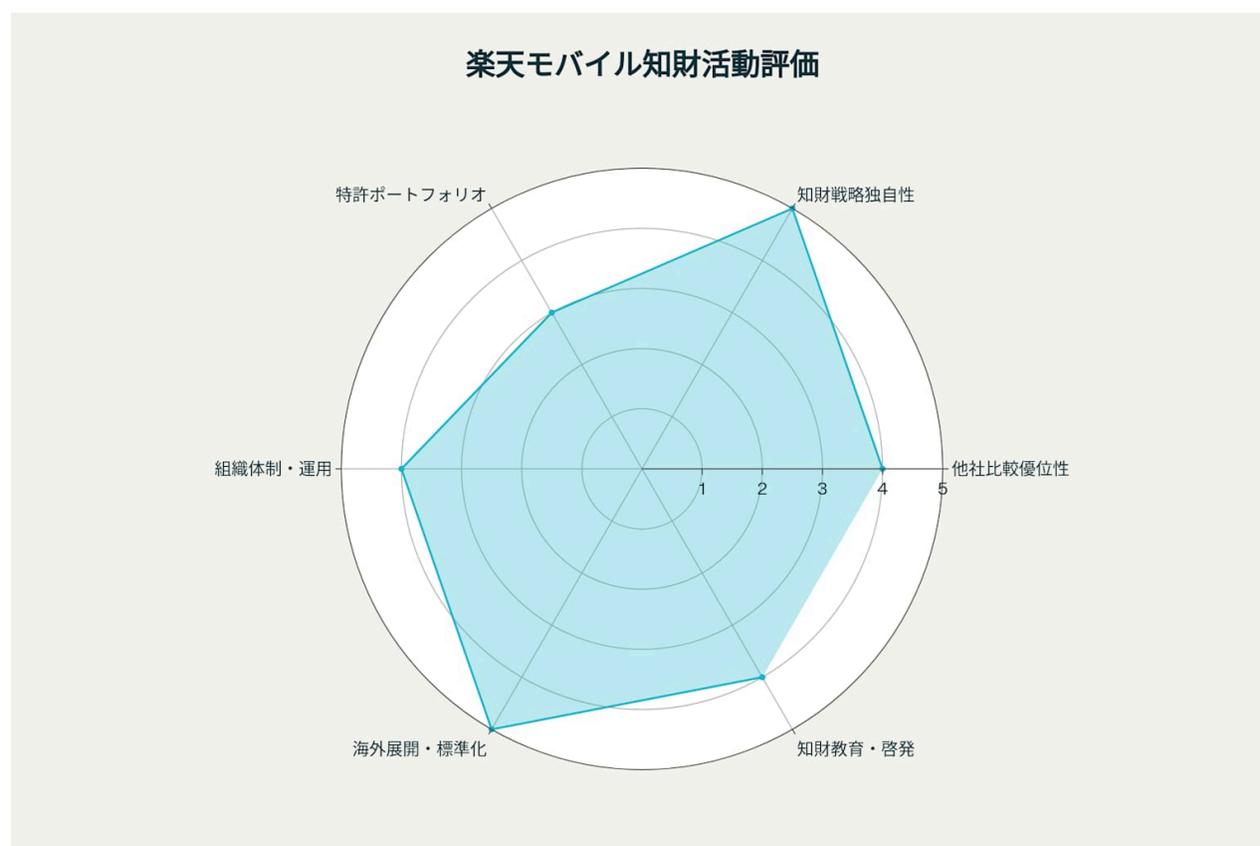
社内でのAI活用率85%を達成し、知財業務においてもAI・RPAを積極活用している<sup>[14]</sup>。これにより、ルーチンワークの自動化を図り、より戦略的な業務に人材を集中させている。

## 6.3 事業部門との連携強化

定期的な事業部門との会議を通じて、知財意識の向上と実務での知財活用促進を図っている<sup>[1]</sup>。新製品リリースや新規事業契約時の知財チェック体制も整備している。

## 総合評価と今後の展望

楽天モバイルの知財活動は、6つの評価軸で分析すると独自の強みと課題が明確になる。



### 楽天モバイル知財活動の6軸総合評価

**強み**として、知財戦略の独自性と海外展開・標準化活動が高く評価される。完全仮想化技術によるイノベーション、O-RAN ALLIANCE理事就任による業界でのプレゼンス向上、AI・RPA活用による効率化などは他社にない特徴である<sup>[1] [2] [14]</sup>。

**課題**としては、特許ポートフォリオの量的拡充が挙げられる。年間出願数の増加と、技術分野の更なる多様化が今後の成長には不可欠である<sup>[4] [5]</sup>。

楽天モバイルは「最強の知財部」を目指し、限られたリソースで最大の成果を出すためのデジタル変革を推進している<sup>[1]</sup>。今後は、AI・RPAのさらなる活用により業務効率化を図りつつ、標準必須特許の戦略的取得と海外展開の加速により、通信業界における知財面でのリーダーシップ確立を目指していくと予想される。

\*  
\*\*

1. [https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j\\_jid\\_\\_3012523469/](https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j_jid__3012523469/)
2. <https://www.sbbit.jp/article/cont1/77314>
3. <https://corp.rakuten.co.jp/about/organization.html>
4. [https://corp.mobile.rakuten.co.jp/news/press/2020/1104\\_03/](https://corp.mobile.rakuten.co.jp/news/press/2020/1104_03/)
5. [https://directscout.recruit.co.jp/job\\_descriptions/6660808](https://directscout.recruit.co.jp/job_descriptions/6660808)
6. [https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j\\_jid\\_\\_3012523466/](https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j_jid__3012523466/)
7. [https://www.wantedly.com/companies/company\\_2220112/post\\_articles/966379](https://www.wantedly.com/companies/company_2220112/post_articles/966379)
8. [https://rakuten.wd1.myworkdayjobs.com/ja-JP/RakutenInc/job/Internet-Services-Patent---Intellectual-Property-Department--Group-Compliance-Supervisory-Department\\_1025053-153](https://rakuten.wd1.myworkdayjobs.com/ja-JP/RakutenInc/job/Internet-Services-Patent---Intellectual-Property-Department--Group-Compliance-Supervisory-Department_1025053-153)
9. [https://corp.mobile.rakuten.co.jp/news/press/2025/0120\\_01/](https://corp.mobile.rakuten.co.jp/news/press/2025/0120_01/)
10. [https://corp.rakuten.co.jp/news/press/2022/0413\\_01.html](https://corp.rakuten.co.jp/news/press/2022/0413_01.html)
11. [https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j\\_jid\\_\\_3012748151/](https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j_jid__3012748151/)
12. <https://vision00.jp/topic/10085/>
13. <https://group.ntt.jp/sustainability/governance/intellectual-property/>
14. <https://muchinare.com/archives/201216.html>
15. [https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi\\_pr\\_secret-49.html](https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_pr_secret-49.html)
16. <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03093/040200003/>